

令和5年度 第1四半期地域経済動向調査

(令和5年4月～6月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

①会員アンケート調査

会員アンケート調査（新温泉町商工会）

<https://www.sinonsen.com/>

②中小企業景況感

中小企業景況調査（全国商工会連合会）

http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633

③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査（豊岡公共職業安定所）

https://jsite.mhlw.go.jp/hyogo-roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/_121984_00008.html

④業種別業況判断

但馬の経済指標（兵庫県但馬県民局）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

① 会員アンケート調査

調査依頼 100 事業所

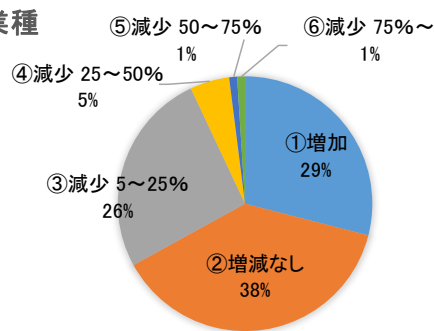
回答 100 事業所 (回答率 100.0%)

1.売上状況

(令和4年4月～6月)と(令和5年4月～6月)の比較

全業種		
4～6月	件数	構成比
①増加	29	29.0%
②増減なし	38	38.0%
③減少 5～25%	26	26.0%
④減少 25～50%	5	5.0%
⑤減少 50～75%	1	1.0%
⑥減少 75%～	1	1.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	100	100.0%

全業種



建設業		
4～6月	件数	構成比
①増加	4	23.5%
②増減なし	7	41.2%
③減少 5～25%	3	17.6%
④減少 25～50%	2	11.8%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	1	5.9%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
4～6月	件数	構成比
①増加	1	9.1%
②増減なし	8	72.7%
③減少 5～25%	2	18.2%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
4～6月	件数	構成比
①増加	4	57.1%
②増減なし	1	14.3%
③減少 5～25%	2	28.6%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
4～6月	件数	構成比
①増加	6	30.0%
②増減なし	5	25.0%
③減少 5～25%	9	45.0%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

飲食業		
4～6月	件数	構成比
①増加	4	33.3%
②増減なし	6	50.0%
③減少 5～25%	1	8.3%
④減少 25～50%	1	8.3%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
4～6月	件数	構成比
①増加	1	9.1%
②増減なし	3	27.3%
③減少 5～25%	4	36.4%
④減少 25～50%	2	18.2%
⑤減少 50～75%	1	9.1%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
4～6月	件数	構成比
①増加	8	38.1%
②増減なし	8	38.1%
③減少 5～25%	5	23.8%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

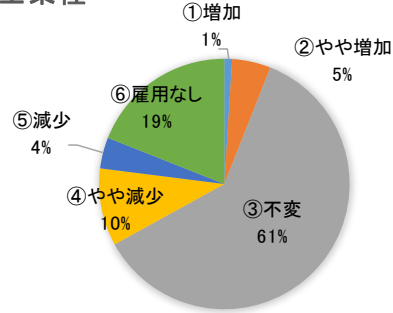
農業		
4～6月	件数	構成比
①増加	1	100.0%
②増減なし	0	0.0%
③減少 5～25%	0	0.0%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

2.雇用状況

(令和5年3月31日)と(令和5年6月30日)の比較

全業種		
6月30日	件数	構成比
①増加	1	1.0%
②やや増加	5	5.0%
③不変	61	61.0%
④やや減少	10	10.0%
⑤減少	4	4.0%
⑥雇用なし	19	19.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	100	100.0%

全業種



建設業		
6月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	1	5.9%
③不変	13	76.5%
④やや減少	2	11.8%
⑤減少	1	5.9%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
6月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	2	18.2%
③不変	7	63.6%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	1	9.1%
⑥雇用なし	1	9.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
6月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	6	85.7%
④やや減少	1	14.3%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
6月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	1	5.0%
③不変	9	45.0%
④やや減少	3	15.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	7	35.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

飲食業		
6月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	10	83.3%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	2	16.7%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
6月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	6	54.5%
④やや減少	3	27.3%
⑤減少	1	9.1%
⑥雇用なし	1	9.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
6月30日	件数	構成比
①増加	1	4.8%
②やや増加	0	0.0%
③不変	10	47.6%
④やや減少	1	4.8%
⑤減少	1	4.8%
⑥雇用なし	8	38.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

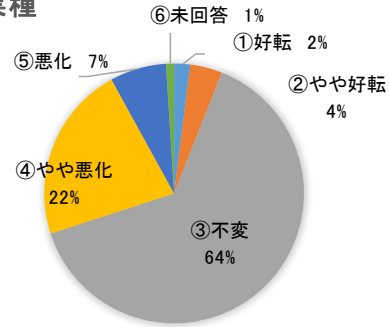
農業		
6月30日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	1	100.0%
③不変	0	0.0%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

3.資金繰り状況

(令和5年3月31日)と(令和5年6月30日)の比較

全業種		
6月30日	件数	構成比
①好転	2	2.0%
②やや好転	4	4.0%
③不変	64	64.0%
④やや悪化	22	22.0%
⑤悪化	7	7.0%
⑥未回答	1	1.0%
総計	100	100.0%

全業種



建設業		
6月30日	件数	構成比
①好転	1	5.9%
②やや好転	2	11.8%
③不変	11	64.7%
④やや悪化	3	17.6%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
6月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	8	72.7%
④やや悪化	2	18.2%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
6月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	5	71.4%
④やや悪化	1	14.3%
⑤悪化	1	14.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
6月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	15	75.0%
④やや悪化	5	25.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

飲食業		
6月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	7	58.3%
④やや悪化	3	25.0%
⑤悪化	2	16.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
6月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	4	36.4%
④やや悪化	5	45.5%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	1	9.1%
総計	11	100.0%

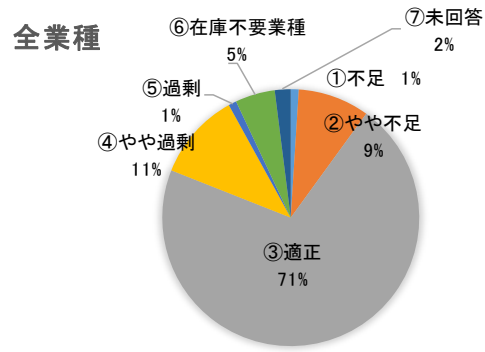
サービス業		
6月30日	件数	構成比
①好転	1	4.8%
②やや好転	2	9.5%
③不変	13	61.9%
④やや悪化	3	14.3%
⑤悪化	2	9.5%
⑥未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

農業		
6月30日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

4.在庫状況

(令和5年6月30日現在)

全業種		
6月30日	件数	構成比
①不足	1	1.0%
②やや不足	9	9.0%
③適正	71	71.0%
④やや過剰	11	11.0%
⑤過剰	1	1.0%
⑥在庫不要業種	5	5.0%
⑦未回答	2	2.0%
総計	100	100.0%



建設業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	2	11.8%
③適正	15	88.2%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
6月30日	件数	構成比
①不足	1	9.1%
②やや不足	2	18.2%
③適正	7	63.6%
④やや過剰	1	9.1%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	14.3%
③適正	5	71.4%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	1	14.3%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	2	10.0%
③適正	14	70.0%
④やや過剰	4	20.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

飲食業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	8.3%
③適正	7	58.3%
④やや過剰	3	25.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	8.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	8	72.7%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	9.1%
⑦未回答	2	18.2%
総計	11	100.0%

サービス業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	15	71.4%
④やや過剰	3	14.3%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	3	14.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

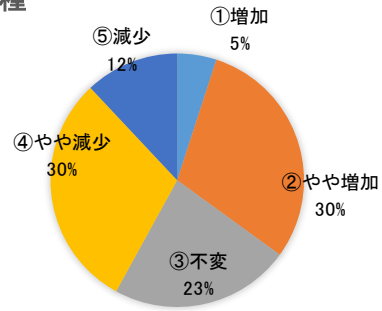
農業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	100.0%
③適正	0	0.0%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

5.今後の見通し(売上高)

(令和5年4月～6月)と(令和5年7月～9月)の比較

全業種		
7～9月	件数	構成比
①増加	5	5.0%
②やや増加	30	30.0%
③不変	23	23.0%
④やや減少	30	30.0%
⑤減少	12	12.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	100	100.0%

全業種



建設業		
7～9月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	3	17.6%
③不変	6	35.3%
④やや減少	5	29.4%
⑤減少	3	17.6%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
7～9月	件数	構成比
①増加	1	9.1%
②やや増加	3	27.3%
③不変	1	9.1%
④やや減少	5	45.5%
⑤減少	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
7～9月	件数	構成比
①増加	1	14.3%
②やや増加	2	28.6%
③不変	0	0.0%
④やや減少	4	57.1%
⑤減少	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
7～9月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	8	40.0%
③不変	6	30.0%
④やや減少	5	25.0%
⑤減少	1	5.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

飲食業		
7～9月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	4	33.3%
③不変	3	25.0%
④やや減少	4	33.3%
⑤減少	1	8.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
7～9月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	3	27.3%
③不変	2	18.2%
④やや減少	3	27.3%
⑤減少	3	27.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
7～9月	件数	構成比
①増加	3	14.3%
②やや増加	6	28.6%
③不変	5	23.8%
④やや減少	4	19.0%
⑤減少	3	14.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

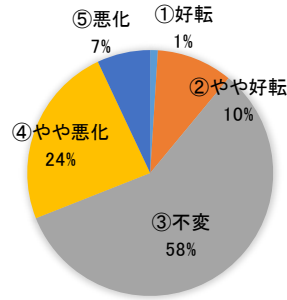
農業		
7～9月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	1	100.0%
③不変	0	0.0%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

6.今後の見通し(資金繰り)

(令和5年4月～6月)と(令和5年7月～9月)の比較

全業種		
7～9月	件数	構成比
①好転	1	1.0%
②やや好転	10	10.0%
③不変	58	58.0%
④やや悪化	24	24.0%
⑤悪化	7	7.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	100	100.0%

全業種



建設業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	11	64.7%
④やや悪化	6	35.3%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	18.2%
③不変	5	45.5%
④やや悪化	3	27.3%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	4	57.1%
④やや悪化	3	42.9%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	4	20.0%
③不変	11	55.0%
④やや悪化	4	20.0%
⑤悪化	1	5.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

飲食業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	8.3%
③不変	8	66.7%
④やや悪化	2	16.7%
⑤悪化	1	8.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	6	54.5%
④やや悪化	4	36.4%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

サービス業		
7～9月	件数	構成比
①好転	1	4.8%
②やや好転	2	9.5%
③不変	13	61.9%
④やや悪化	2	9.5%
⑤悪化	3	14.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

農業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	100.0%
③不変	0	0.0%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

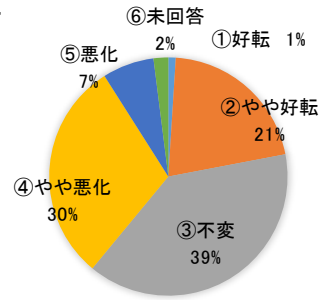
7.今後の見通し(業況判断)

(令和5年4月～6月)と(令和5年7月～9月)の比較

全業種

7～9月	件数	構成比
①好転	1	1.0%
②やや好転	21	21.0%
③不変	39	39.0%
④やや悪化	30	30.0%
⑤悪化	7	7.0%
⑥未回答	2	2.0%
総計	100	100.0%

全業種



建設業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	11.8%
③不変	8	47.1%
④やや悪化	6	35.3%
⑤悪化	1	5.9%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	3	27.3%
③不変	3	27.3%
④やや悪化	4	36.4%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	14.3%
③不変	1	14.3%
④やや悪化	5	71.4%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	7	35.0%
③不変	7	35.0%
④やや悪化	3	15.0%
⑤悪化	2	10.0%
⑥未回答	1	5.0%
総計	20	100.0%

飲食業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	8.3%
③不変	5	41.7%
④やや悪化	6	50.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	9.1%
③不変	5	45.5%
④やや悪化	3	27.3%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	1	9.1%
総計	11	100.0%

サービス業		
7～9月	件数	構成比
①好転	1	4.8%
②やや好転	5	23.8%
③不変	10	47.6%
④やや悪化	3	14.3%
⑤悪化	2	9.5%
⑥未回答	0	0.0%
総計	21	100.0%

農業		
7～9月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	100.0%
③不変	0	0.0%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

②中小企業景況感 (DI は、増加 (上昇、好転) 企業割合から減少 (低下、悪化) 企業割合を差し引いた値を示します。)
製造業

幅広い業種で改善傾向がみられた製造業

2023年4～6月期の製造業の主要3DIは、売上(加工)額DIはマイナス1.5(前期比7.2ポイント上昇)、採算(経常利益)DIはマイナス20.3(同9.2ポイント上昇)、資金繰りDIはマイナス11.6(同5.5ポイント上昇)と全てで改善した。DIを1年前の同時期と比較しても、売上は1.7ポイント、採算は5.3ポイント、資金繰りは1.3ポイントといずれも上回って推移している。

DIの内訳をみると、売上額では当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答が4.7ポイント増加する一方で、「減少・低下・悪化」したという割合は2.5ポイントだけ減少している。一方、採算、資金繰りDIは「増加・上昇・好転」の改善幅(採算3.2、資金繰り2.0ポイント)以上に「減少・低下・悪化」の低下幅が大きかったことがわかる(採算6.0、資金繰り3.5ポイント)。

DIを業種別にみると、全17業種のうち売上額で11、採算は14、資金繰りは16と幅広い業種で対前期からの改善を示したが、中でも「木材・木製品製造業」と「印刷・同関連業」の採算(対前期それぞれ23.5ポイント、20.1ポイント)、および「化学工業」の売上額(同22.9ポイント)は20ポイント以上の上昇となった。また、売上額DIは水準自体がプラスの業種が5業種(食料品製造業、飲料・飼料・たばこ製造業、化学工業、窯業・土石製品製造業、精密機械器具製造業)に増えたが、中でも「飲料・飼料・たばこ製造業」は主要3DI全てが唯一プラスの水準に回復している。

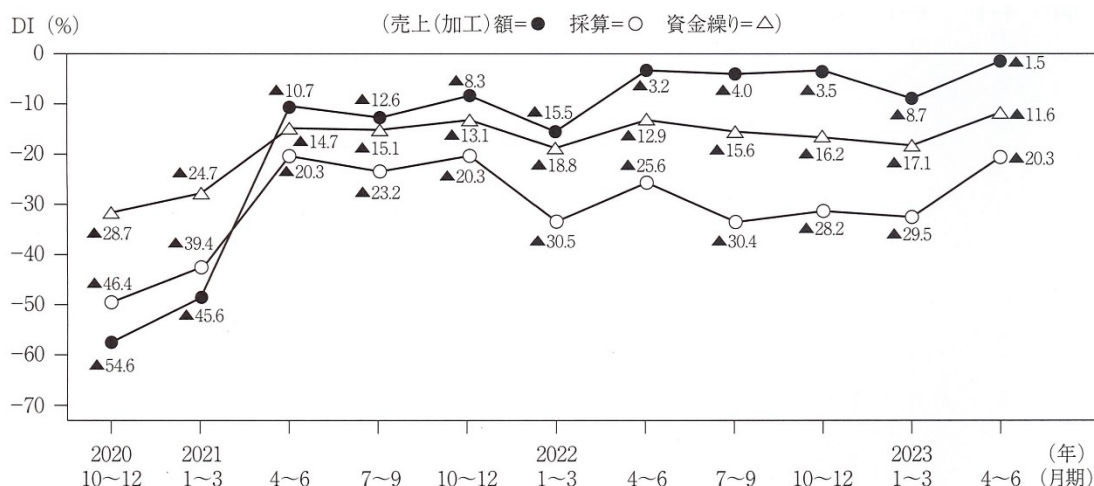
地域別では、ほぼ全ての区分で前回より改善し、「中国」の採算のみが前回は下回った(対前期3.3ポイント)。また、売上額DIの水準は「九州」が前回に引き続きプラスを維持したことに加え(8.6)、「関東」、「近畿」、「中国」などは依然マイナスであるものの、その水準が徐々にゼロ近傍にまで回復してきたことがうかがえる。

人口規模別でみると主要3DIは全ての区分で回復した。中でも売上額DIは全4区分のうち3区分で2桁の改善幅を示しており、一番規模の小さい「人口一万人未満の地区」および一番大きい「人口十万人以上の地区又は含まれる地区」では水準自体がプラスに回復している(それぞれ、4.1、1.6)。一方、従業員規模別では比較的規模の大きい区分で対前期からの悪化がみられ、「21人～50人以下」の売上額、「51人～100人以下」および「101人以上」の売上額と資金繰りだけが対前期でマイナスになっているものの、こちらも水準自体がプラスに回復した区分が複数(売上額3区分、資金繰り1区分)みられた。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題として指摘されるのは7期連続で「原材料価格の上昇」が1位となり、41.2%の経営者が指摘をしているが、その割合は前回から比べる1.0ポイント減少した。2位も前回同様「需要の停滞」があげられているが前回からは2.0ポイント減少し指摘する割合は11.9%にとどまる。一方、3位の「従業員の確保難」8.4%(同1.3ポイント増加)、4位「生産設備の不足・老朽化」8.0%(同0.8ポイント増加)はいずれも指摘する割合が増加しており、供給側の問題が徐々に増加していることがわかる。

1. 主要3項目の動き

(図2-1) 主要景況項目の推移 一前年同期比一



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	7.2				9.2			
前年比	1.7				5.3			

建設業

依然としてコストの懸念は大きいものの全てが改善した建設業

2023年4～6月期の建設業の主要3DIは、完成工事（請負工事）額DIがマイナス11.6（前期比3.9ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス25.8（同10.3ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス7.0（同5.8ポイント上昇）と全てで前回より改善した。また、1年前の水準と比較すると、完成工事額は7.4ポイント、採算は10.1ポイント、資金繰りは5.6ポイント上回って推移している。

DIの内訳をみると、当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合は3DI全てで上昇（完成工事額1.5ポイント、採算3.8ポイント、資金繰り2.1ポイント）している一方で、「減少・低下・悪化」したという回答はいずれも低下しており（完成工事2.4ポイント、採算6.5ポイント、資金繰り3.7ポイント）、特に採算が悪化したという割合が減っていることがわかる。

業種別DIをみるとほぼ全てで前回より改善しており、悪化したのは「総合工事業」の完成工事額（対前期2.4ポイント低下）のみだった。一方、「設備工事業」は主要3DI全てで2桁幅の改善を示しており、さらにDIのうち「採算」は全ての業種で10ポイント前後の改善を示しており、全体でも対前期で10.3ポイントと大きく上昇する結果となった。

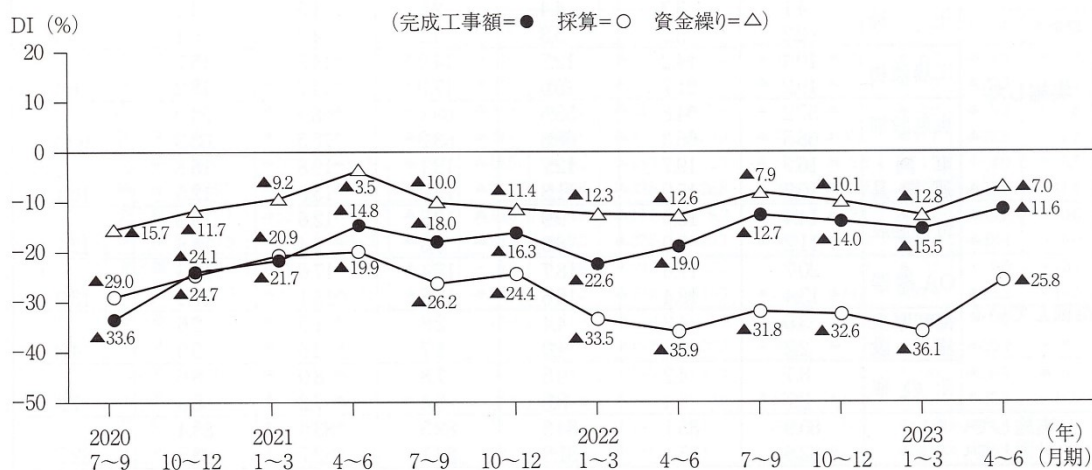
地域別で主要3DI全てが改善したのは全8地域中「関東」「近畿」「四国」「九州」の4地域だったが、このうち「関東」では全てが2桁の改善幅を示している（売上額18.1、採算17.2、資金繰り10.8ポイント対前期で上昇）。また今回は水準自体がプラスを維持するDIも「北海道」の資金繰り（2.1）、「四国」と「九州」の売上額（1.3、0.5）と複数地域でみられた。一方、今回「北海道」のみは主要3DI全てが前回より悪化し、特に売上額の低下幅が大きかった（対前期で売上25.9、採算7.8、資金繰り2.4ポイントそれぞれ低下）。

人口規模別の主要3DIは全ての区分で前回よりも改善した。中でも採算は全4区分のうち「人口一万人未満の地区」「人口三万人～十万人未満の地区」「人口十万人以上の地区又は含まれる地区」の3区分で2桁の大きな改善（対前期それぞれ15.6、10.3、15.0ポイント）を示したことにより、全体でも10.3ポイント上昇する結果となった。一方、従業員規模別では全7区分のうち売上額4、採算は5、資金繰りは6の区分で改善を示し、特に採算DIが4区分で2桁と大きく改善していた。また、従業員規模別では比較的大きい区分、「11人～20人以下」と「21人～50人以下」の資金繰り（それぞれ1.5、10.3）、および「51人～100人以下」の売上額（25.0）で水準自体がプラスを維持している。

経営上の問題点の推移をみると、第1位は9期連続で「材料価格の上昇」があげられており、その割合は46.5%と依然として5割近い経営者が指摘しているものの、前回と比較すると6.4ポイント減少している。2位は前回同様「従業員の確保難」が13.7%と、こちらは前回から1.4ポイント増加した。続く3位、4位も前回と同じ「官公需要の停滞」が7.3%、「民間需要の停滞」が6.7%で、その割合は対前期でそれぞれ0.1ポイント、0.3ポイント増とほぼ横ばいで推移している。

1. 主要3項目の動き

〈図3-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	3.9				10.3			
前年比	7.4				10.1			

小売業

全ての業種で改善した小売業の景況

2023年4～6月期の小売業の主要3DIは、売上額DIはマイナス10.5（前期比12.3ポイント上昇）、採算DIはマイナス32.6（同11.1ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス19.5（同7.8ポイント上昇）といずれも改善しており、特に売上額と採算は2桁ポイントの改善を示した。水準を1年前と比較すると、売上は9.7ポイント、採算7.4ポイント、資金繰り4.8ポイントといずれも上回って改善していることがわかる。

DIの内訳をみると、主要3DIのいずれも当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が増加しており（売上5.7ポイント、採算20ポイント、資金繰り14ポイント）、売上の上昇幅が大きい。また、「減少・低下・悪化」したという回答はいずれも減少しているが（売上6.6ポイント、採算9.1ポイント、資金繰り6.4ポイント）、特に採算の減少幅が大きいことがわかる。また、小売業における来期見通しは主要3DIとも好転する見込みが増えており、やや明るい見通しになっている。

業種別にみた主要3DIは全ての区分で上昇し、2桁ポイントの改善を示す業種も多かった。中でも「各種商品小売業」の売上額と採算（対前期23.6、22.6ポイント）、「自動車・自転車小売業」の売上額（同20.6ポイント）は20ポイントを超える上昇幅となっている。また、「飲食料品小売業」の売上額は水準自体もプラスに回復した（2.8）。

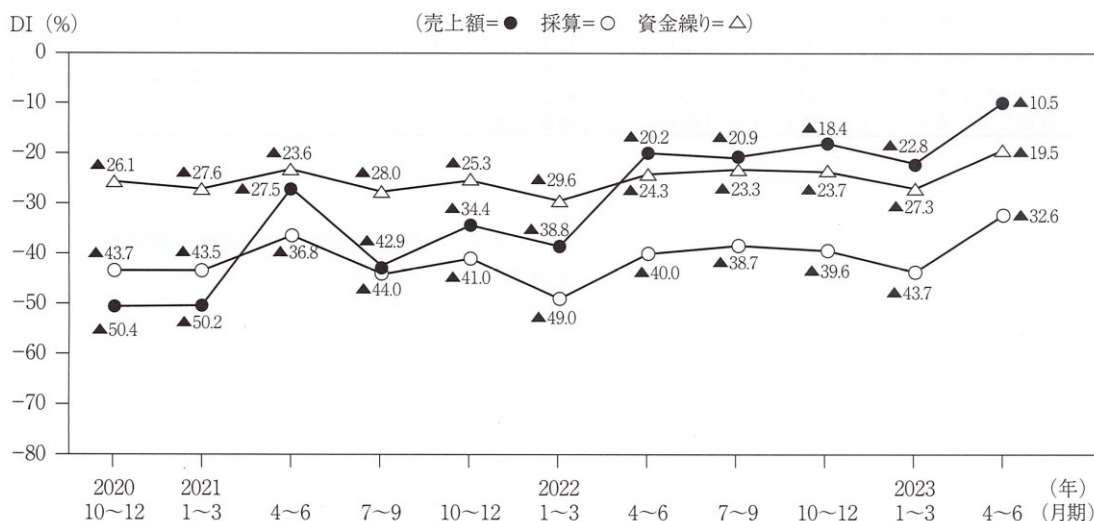
地域別でみたDIは全てが改善しており、その幅が2桁に届く地域も多く、その数は売上額と採算では全8地域中半分の4地域にのぼる。また、「九州」の売上額は水準自体が3.2とプラスへ改善した。

人口規模別でも今回は全てで改善がみられ、上昇幅が2桁を超える区分も複数存在した。今回、一番小さい「人口一万人未満の地区」では、採算、資金繰りの2つで2桁の改善幅を示したが（対前期15.0、14.3ポイント）、DIの水準でみても規模が小さい程DIの水準は高い傾向にある。また、従業員規模別も全てでDIが改善し、多くの区分で2桁幅の上昇がみられた。ここでは売上額DIの水準は規模が大きい程高い傾向にあり、「6人～10人以下」（10.1）「11人～20人以下」（6.5）「21人以上」（37.5）はプラスの水準を維持している。

経営上の問題点として指摘される割合は5期連続で「仕入単価の上昇」が1位となり、その割合は32.5%と他と比較すると大きいものの、前回よりは1.0ポイントわずかに減少した。2位は前回同様「需要の停滞」で、指摘される割合は0.5ポイント減少し、11.3%、以降も、「購買力の他地域への流出」11.0%（対前期0.4ポイント増加）、「消費者ニーズの変化」9.7%（同0.8ポイント減少）とほぼ横ばいの割合で推移している。

1. 主要3項目の動き

〈図4-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	12.3				11.1			
前年比	9.7				7.4			

サービス業

「飲食店（一般・遊興）」を筆頭に幅広い業種で改善したサービス業

2023年4～6月期のサービス業の主要3DIは、売上（収入）額DIは14.5（前期比17.1ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス21.8（同16.4ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス8.5（同9.9ポイント上昇）といずれも大きく改善し、特に売上額は水準自体がプラスに回復した。これを1年前の水準と比較すると、売上は20.5ポイント、採算は10.4ポイント、資金繰りは6.7ポイントの改善幅となっている。

DIの内訳をみると、主要3DI全てで、当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が増加し（売上9.2ポイント、採算4.5ポイント、資金繰り3.0ポイント）、中でも売上額の上昇幅が大きいことがわかる。また、「減少・低下・悪化」したという回答は主要3DI全てで低下し（売上7.9ポイント、採算11.9ポイント、資金繰り6.9ポイント）、このうち採算は2桁の低下幅を示している。

業種別の主要3DIは全6業種のうちほとんどで改善がみられ、前期より悪化したのは「運送業」の売上額のみだったが、下落の幅は1.2ポイントとさほど大きくはない。今回は2桁ポイントの幅で上昇したDIが多く、売上額と採算では5業種、資金繰りは1業種で大幅な改善がみられ、中でも「飲食店（一般・遊興）」は売上額が対前期26.7ポイント、採算26.9ポイント、資金繰り17.9ポイントと、主要3DI全てが他の業種と比較しても大きく改善した。また、「飲食店（一般・遊興）」「宿泊業」の売上額DIの水準は引き続きプラスで推移しており（それぞれ44.5、29.1）、さらに「その他サービス業」の売上額DIもわずかではあるもののプラスに回復した（0.9）。

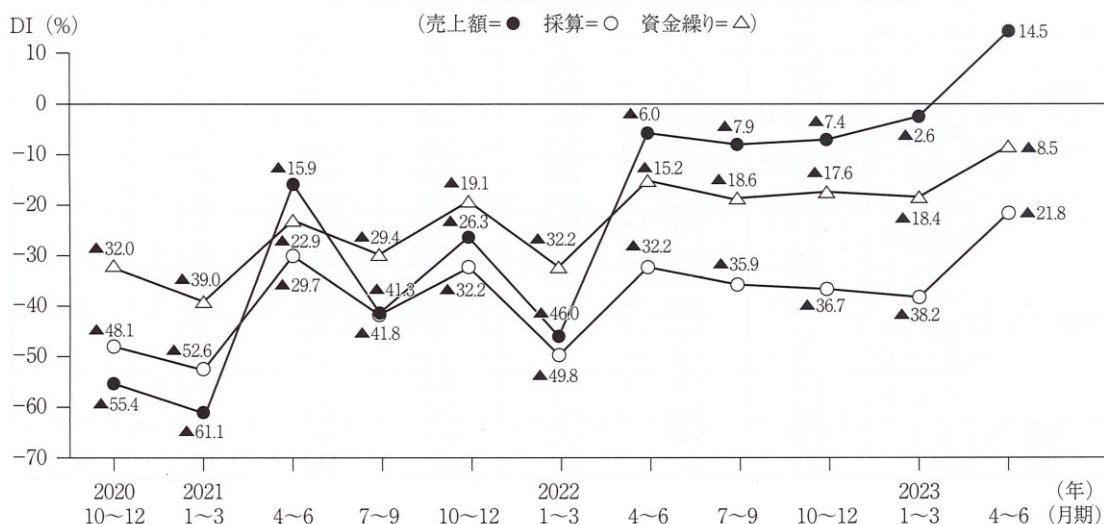
地域別でみると、前期より悪化したのは「北海道」の売上額のみだったが、低下幅は0.5ポイントとわずかであった。他は2桁の幅で改善した地域も多く、全8地域中、売上は6地域、採算は7地域、資金繰りは4地域で大きく上昇した。その結果、北海道を除く7地域全てで売上額DIの水準がプラスを維持する結果となった（東北11.7、関東19.0、中部4.4、近畿13.3、中国16.3、四国17.8、九州20.3）。

人口規模別は全ての区分でDIが前期より改善し、多くは2桁以上の上昇を示した。いずれの区分でも売上額DIは水準自体もプラスで推移する。従業員規模別でみると、対前期で悪化したのは比較的大きい「11人～20人以下」の売上額のみだった（対前期4.5ポイント下落）が、他は「3人～5人以下」の売上額（同21.1ポイント上昇）をはじめとし、2桁の改善を示した区分が多く、売上額DIは全5区分の全てで水準自体がやはりプラスで推移する。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題点として指摘される割合が一番多かったのは5期連続で「材料等仕入単価の上昇」となり、指摘される割合は0.9ポイント増加し37.2%だった。2位は前回同様「人件費以外の経費の増加」が12.0%だが割合は0.2ポイント減少と前回とほぼ同程度で推移する。3位以降は「利用者ニーズの変化」10.4%（0.6ポイント増加）、「需要の停滞」9.7%（0.1ポイント増加）と続くが、需要の停滞は2.5ポイント減少し前回の2位から順位を下げている。また、5位の「従業員の確保難」7.3%は前回と同じ順位ではあるものの、指摘する割合は1.0ポイント増加している。

1. 主要3項目の動き

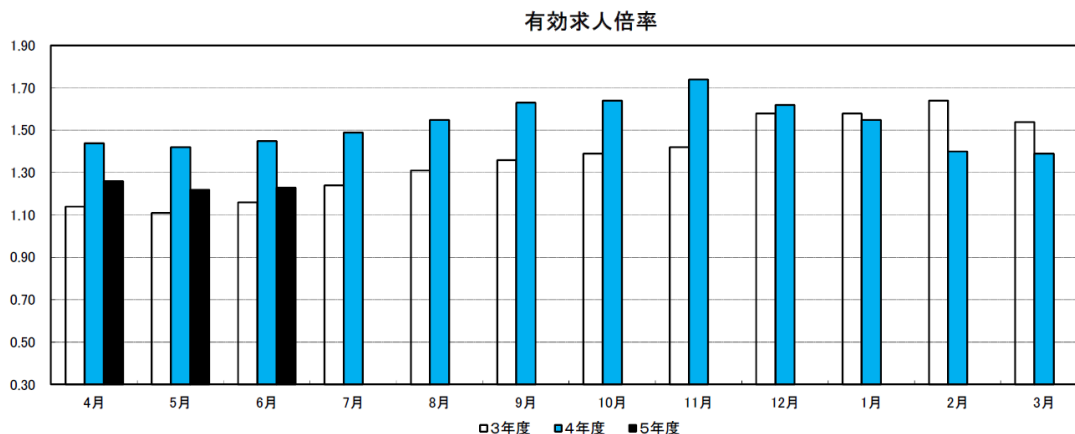
〈図5-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	17.1				16.4			
前年比	20.5				10.4			

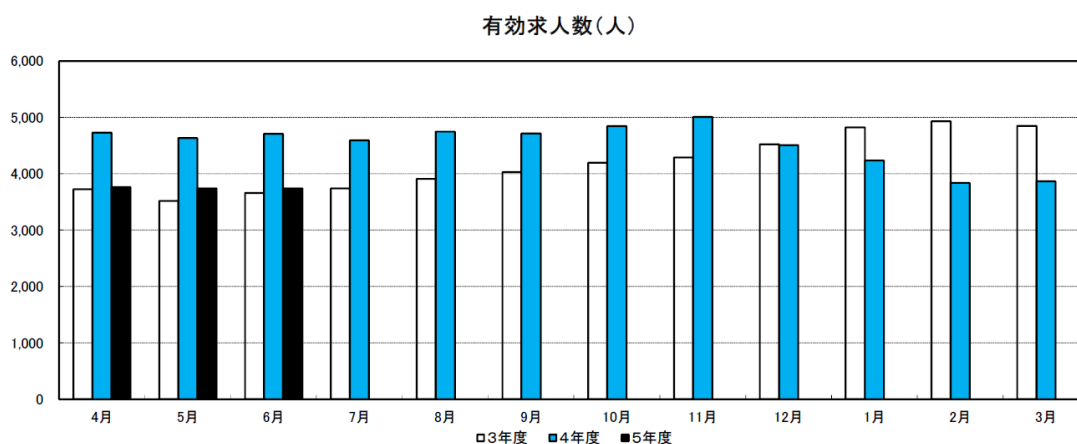
(以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査2022年4-6月期」より抜粋)

③地域の雇用情勢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	1.14	1.11	1.16	1.24	1.31	1.36	1.39	1.42	1.58	1.58	1.64	1.54	1.37
4年度	1.44	1.42	1.45	1.49	1.55	1.63	1.64	1.74	1.62	1.55	1.40	1.39	1.53
5年度	1.26	1.22	1.23										1.24
対前月(増減)	-0.13	△0.04	+0.01										—
対前年(増減)	△0.18	△0.20	△0.22										—

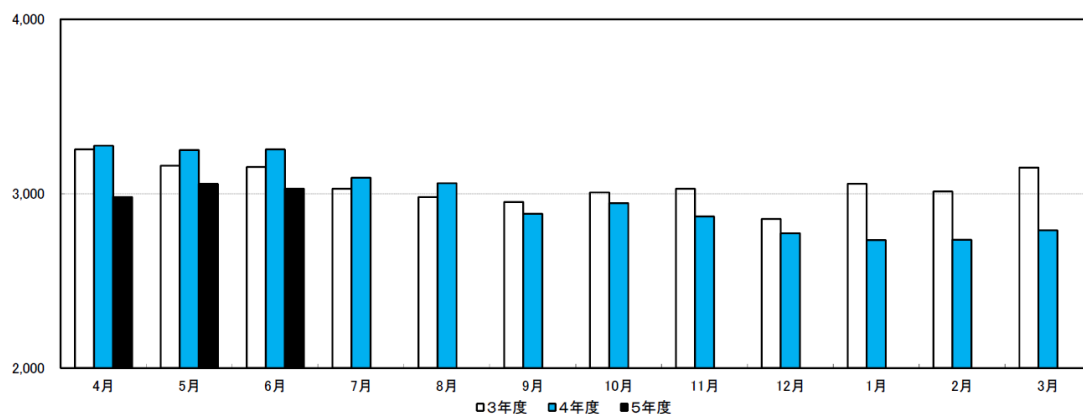
出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	3,722	3,518	3,657	3,741	3,911	4,026	4,195	4,292	4,523	4,825	4,929	4,852	4,183
4年度	4,728	4,634	4,710	4,596	4,744	4,713	4,844	5,008	4,507	4,234	3,838	3,866	4,535
5年度	3,763	3,740	3,739										3,747
前月比(%)	△2.66	△0.61	△0.03										—
前年同月比(%)	△20.41	△19.29	△20.62										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

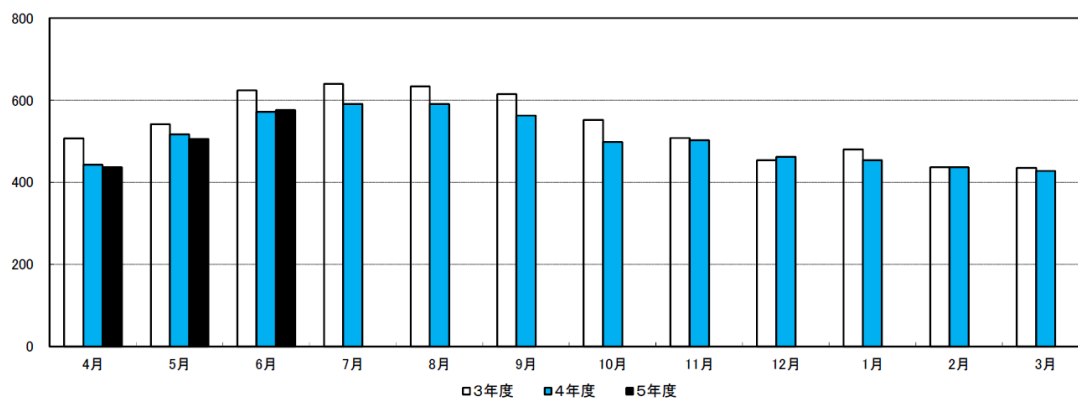
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	3,256	3,162	3,154	3,029	2,982	2,954	3,008	3,029	2,857	3,057	3,013	3,151	3,054
4年度	3,277	3,252	3,256	3,093	3,061	2,886	2,946	2,870	2,774	2,735	2,737	2,791	2,973
5年度	2,981	3,058	3,030										3,023
前月比(%)	+6.81	+2.58	△0.92										—
前年同月比(%)	△9.03	△5.97	△6.94										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	507	542	624	640	634	615	552	508	454	480	437	435	536
4年度	443	517	572	591	591	563	498	503	462	454	437	428	505
5年度	437	506	576										506
前月比(%)	+2.10	+15.79	+13.83										—
前年同月比(%)	△1.35	△2.13	+0.70										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

④業種別業況判断

主要業種の概況

靴卸売業	景況感は良い。令和5年4月～6月の売上高は受注が好調であったため昨年同期比で売上 140%増を見込む。人の動きが活発になり、売上高はコロナ禍前の水準に戻った。一方、全ての物価指数が上昇し、物価の上昇率と利益の上昇率との乖離が激しく利益確保が困難である。賃金引上げを実施したが、社会保険料引上げに伴い、実際の手取りはあまり増えていない。
宿泊業	景況感さはほど良くないが、経営努力により令和5年4月～6月の売上高、利益は昨年同期比で 50%程度増。従来はバスでの団体客中心だったが、コロナ禍を経てレンタカーやマイカー利用の個人客が増加している。自社にしかできないサービス提供を目標に高付加価値補助金を利用し露天風呂付き客室を設置したことが好評となっている。地域全体でユニバーサル・ツーリズム推進に取組み、宿泊客が地域に滞在できる仕組みを構築していく。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和5年4月)」より

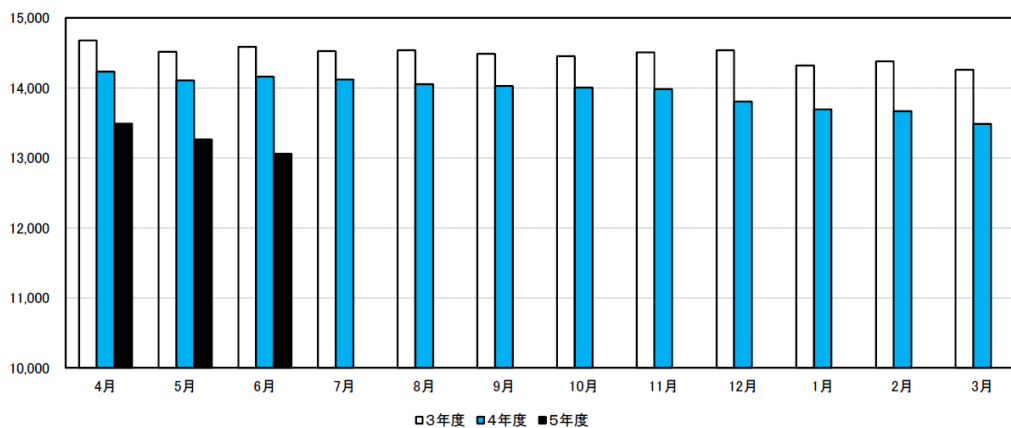
食料品製造業	大型連休で直営店の客数が増加したことから5月の景況感は若干良いとみる。3ヶ月後の景況感さはほど良くないだろう。原材料(糖、段ボール等の包材)は円安に伴う価格高騰で利益に影響が及んでいる。今四半期の利益は前四半期比 10%減少の見込み。今後も価格高騰が予測されることから今秋頃に商品の値上げを予定。一方で、円安傾向が続くことから海外販路拡大を目指し、現地展示会への出展を検討している。
娯楽業・宿泊業	3月は全国旅行支援を利用した宿泊予約が殺到し、宿泊者数はコロナ禍前の令和元年度比 170%を達成。今四半期の売上高・利益は昨年同期比で 150%増であるが、コロナ禍前に戻ったとは言い難い。訪日客は平成 30 年度並の戻りとなっている。他方、雇用では売り手市場で就職希望者が当業種を避ける傾向がある。一企業では雇用機会の確保が難しく、地域全体の人手不足がコロナ禍前に比べ深刻化している

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和5年5月)」より

繊維工業	景況感さはほど良くない。売上高は消費需要が増加したため、前年同期比105%増。一方で原材料価格の高騰で利益は50%減を見通す。原材料価格の高騰は、生産機械の電子部品入荷にも影響しており、入荷に1年以上要している。 令和5年度新規採用実績は、採用計画数の25%に留まる。また、現在30名あまりの外国人技能実習生を受け入れている。令和7年度中に加工工程の自動化を計画しており、今後段階的に製造ラインへ設備投資していく。
電気機械器具製造業	景況感は悪い。全体の生産量が例年の6割程度と激減し、売上高は前四半期比で20%減少、前年同期比では40%減少となる見通し。 時間外労働削減(月5時間以内)に努めているが、売上高が激減した影響で操業時間短縮や非正規雇用の人員削減実施に踏み切った。新規採用数は当初計画の約29%に留まっている。キャリア経験者採用(中途採用)が近年増加傾向にあり、ハローワークや人材紹介サイトで引き続き求人募集をしている。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和5年6月)」より

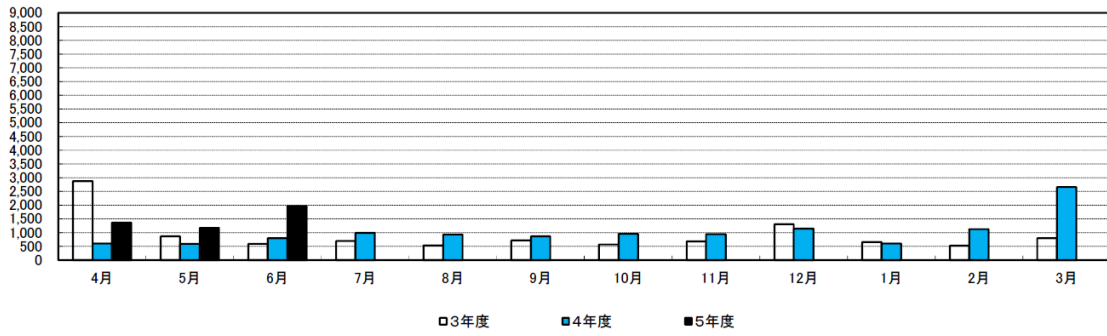
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	14,674	14,514	14,589	14,524	14,538	14,487	14,454	14,505	14,538	14,320	14,377	14,259	14,482
4年度	14,232	14,108	14,161	14,121	14,055	14,027	14,004	13,981	13,803	13,692	13,665	13,483	13,944
5年度	13,489	13,261	13,057										13,269
前月比 (%)	+0.04	△1.69	△1.54										—
前年同月比 (%)	△5.22	△6.00	△7.80										—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

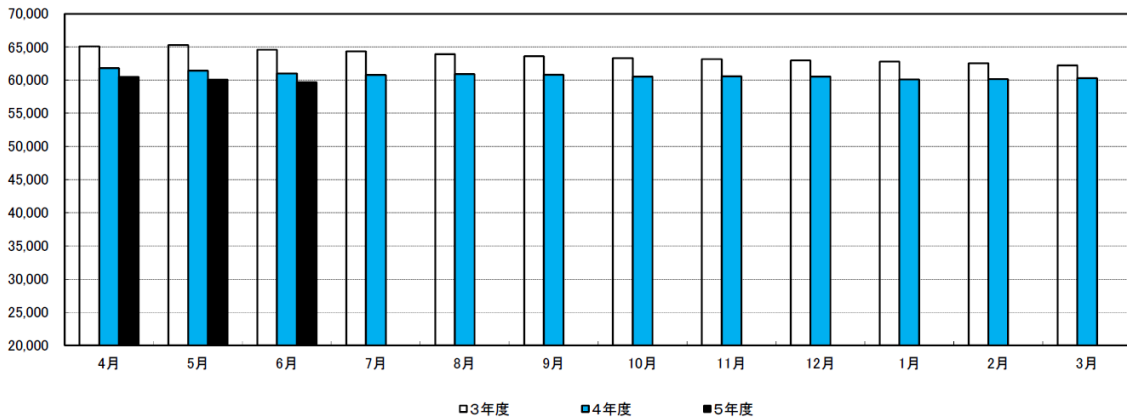
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	2,874	862	588	690	533	716	568	686	1,305	664	519	799	900
4年度	609	595	792	988	930	865	960	945	1,150	606	1,131	2,660	1,019
5年度	1,361	1,166	1,968										1,498
前月比 (%)	△48.83	△14.33	+68.78										—
前年同月比 (%)	+123.48	+95.97	+148.48										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

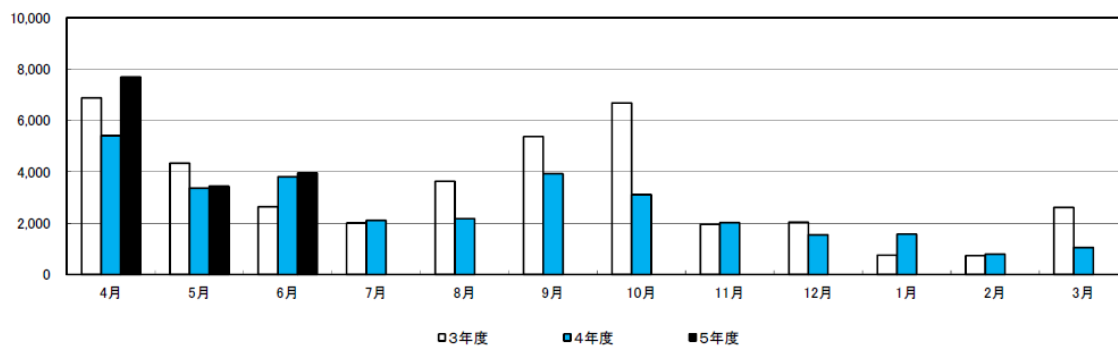


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	65,099	65,265	64,599	64,327	63,901	63,574	63,322	63,155	62,982	62,799	62,541	62,216	63,648
4年度	61,778	61,432	61,006	60,784	60,928	60,810	60,512	60,591	60,510	60,108	60,175	60,279	60,743
5年度	60,486	60,043	59,702										60,077
前月比 (%)	0.34	△0.73	△0.57										—
前年同月比 (%)	△2.09	△2.26	△2.14										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

公共工事

公共工事請負金額(百万円)

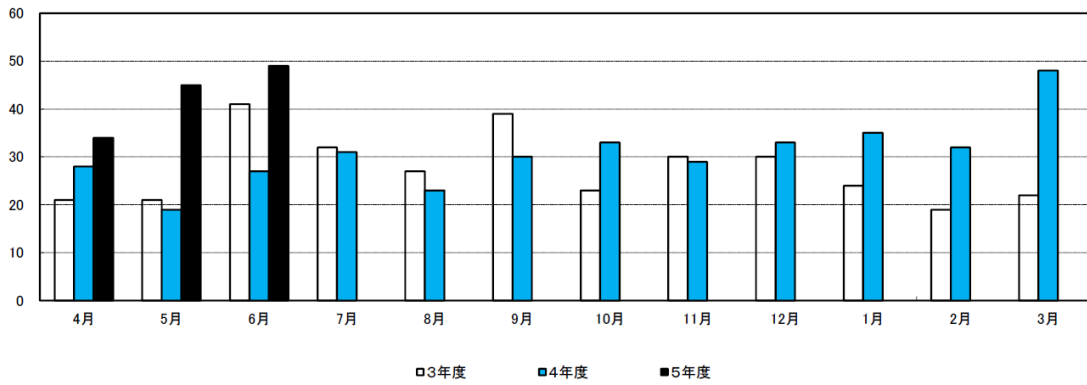


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	6,887	4,349	2,642	2,008	3,636	5,374	6,683	1,961	2,045	755	739	2,619	3,308
4年度	5,418	3,371	3,812	2,107	2,185	3,933	3,120	2,029	1,547	1,576	793	1,052	2,579
5年度	7,702	3,442	3,954										5,033
前月比(%)	+632.13	△55.31	+14.88										—
前年同月比(%)	+42.16	+2.11	+3.73										—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

企業倒産

企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	21	21	41	32	27	39	23	30	30	24	19	22	329
4年度	28	19	27	31	23	30	33	29	33	35	32	48	368
5年度	34	45	49										128

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)